

# リサイクル通信

2004. 9

今年の夏は異常な猛暑でした。

全国的に熱帯夜が続き、軒並み観測史上最長記録をだしてしました。

又この暑さにより、台風も異常発生し、台風の規模も例年以上に大きく日本各地に多大な影響を与えました。この中には、製鉄メーカーも含まれており操業に支障が出ている所もあるそうです。

これから本格的な台風シーズン、まだまだ注意が必要なようです。

## 中国の雑品

7月の終わりにNHKで、中国のバイヤーがペットボトル・金属類の買い付けを日本で行い、中国国内でその処理を行っている様子を放映していました。この番組の中で気になって見ていたのが、雑品と言われる処理困難物の解体現場の様子でした。

実は先月初旬、中国台州にある金



国際環境規格 ISO14001  
長沼商専株式会社

埼玉県所沢市林 1-306-7

属リサイクル工業団地内の雑品ヤードを見学できる機会があり、これが折りしもNHKの中で出てきた工場と同じ工業団地内の別工場なのです。

今回の訪中目的は、前回同様弊社が出荷する雑品の新規先の現場確認でした。1年半前、中国の雑品解体現場を見た時の感想は、昔の日本の解体状況と同じで汚い作業場というイメージでしたが、今回の視察での感想はというと、工場内は整備され綺麗な工場という印象でした。

前回同様、手解体、手選別な所

は変わらないのですが、床が全面コンクリートで土壌汚染対策などが施されており、油などの入っている物を解体する時は、下に油の受け皿を設置して行っていました。

又工業団地で一括の油水分離槽を設置し、工業団地内からの油の流出を防いでいました。

野焼き等も禁止され、発生したゴミは、細かくリサイクルされる物と分別しないと台州の清掃工場が受け入れないということから見学先の工場では女性が解体等から発生するゴミの中からさらに細かく手選別を行っていました。

これができるのも機械加工せず人力で解体を行うからこそなせる技ではないでしょうか。

機械加工されると大量処理はできませんが、選別不可能な物も多く発生し、埋め立て処分等が出てしまいます。

最近の日本でもパソコンリサイクル法により手解体により細かくマテリアルリサイクルが行われています。

手解体こそ正にリサイクルの原点、そんな気がしました。

## ISO14001

つい先日(9月10日)弊社がISO14001を取得してから3年、更新審査がありました。まだ正式な結果は出ていませんが、審査員のお話だと問題ないでしょうとのことでした。

弊社が今年環境に対するプログラムの中で力を入れているのが、ギロチンダストの中からの金属類の回収を行うことです。

ギロチンダストとは、鉄屑の長尺物を切断する時に、泥・塗料片・前選別の段階で拾い切れなかった非鉄金属がピットの中に残った物を言います。

これは焼却処分等の減溶もできず、埋め立てを行うしかありません。

この中には、先に述べたような非鉄金属類等の資源物が含まれています。

弊社では、埋め立て量の削減と、限られた資源物の有効活用の観点から、この非鉄金属類を機械と手回収によって行っています。

今後、このダスト中には有益な資源があるので回収の取り組みを続けていく所存です。